



すこやか通信

東雁来すこやかこどもデイサービスセンターより毎月情報を発信します！



暖かい日が多くなり、戸外で過ごす事が気持ちの良い季節になってきましたね。新型コロナの影響も少しずつ落ち着きを見せ始め、各地では数年振りにお祭りが開催されたりと、以前のような活気が戻りつつあります。体調管理に努めつつ、楽しく初夏を過ごしましょう！



虫刺され



家の中や庭、公園、野山などあらゆる場所に虫は生息しています。これからの時期は、虫達の行動が活発になります。虫刺されはとても身近な皮膚トラブルです。

虫に刺されると、刺された部位とその周辺に赤い発疹、かゆみ、腫れなどの症状があらわれ、痛みを伴うことがあります。このような症状は、それぞれの虫が持つ毒や、唾液に含まれる成分が皮膚に入り、刺激反応や、アレルギー反応によって生じる炎症です



原因となる虫



蚊



チャドクガの幼虫



イラガ



ブユ(ブヨ)



イエダニ

原因となる虫とその症状

種類	生息場所、症状	
吸血する虫	蚊	どこにでも生息。すぐに発疹が出てかゆくなる反応と、1~2日後に症状が出る反応がある。
	ブユ	高原や山の渓谷沿いに生息。半日ほどで発疹があらわれ、徐々にかゆみが強くなる。
	アブ	牛や馬のいる牧場などに生息。強い痛みを感じ、赤く腫れ、痒みもあらわれる。微熱が出る場合もある。
	ノミ	イヌやネコに寄生し、庭や公園にも生息。1~2日後に発疹と強いかゆみがあらわれ、ときには水ぶくれができることもある。
吸血する虫	イエダニ	ネズミに寄生するため、ネズミの生息する家屋で発生。わき腹や太ももの内側が刺されやすく、半日~1日後に発疹と強い痒みがあらわれる。
咬む虫	クモ	草むら、家屋に生息。痛みを感じ、赤く腫れる。
	ムカデ	落ち葉や石の下、古い家に生息。激痛が走り、しびれが生じてしだいに赤く腫れる。
刺す虫	ハチ	秋の野外活動で刺されやすい。強い痛みを感じ、赤く腫れる。はじめて刺されたときは1日で症状が治まるが、2回目以降は蕁麻疹などのアレルギー反応、ショック症状があらわれる場合もある。
有毒の毛を持つ虫	毛虫	公園の植え込みや、庭木など生息、一部の毛虫に毒がある。小さな発疹がたくさんあらわれ、激しいかゆみを伴う。掻くと蕁麻疹のように広がる。

予防と処置

虫刺されの予防には、屋内は目的に応じて殺虫剤の使用、野外では肌の露出を少なくし、虫よけスプレーを使うことが有効です。ハチには虫よけスプレーは効きません。かゆみなどの症状で「刺された!」と気づくことがほとんどです。そんなときはあわてずに、次の対処を行って下さい。

- ①患部を水で洗い流し、清潔を保つようにします。
- ②毛虫やハチに刺された場合は、粘着テープや毛抜きを使

い、皮膚に残っている毒針や毒毛をそっと取り除きます。
③患部を冷やし、掻くのをガマンして炎症を広げないようにします。

一般的に、アンモニアを塗るという対処法が知られていますが、刺された虫により使用するとかえって症状を悪化させることもありますので注意してください。刺されたら、皮膚科を受診してください。



(札幌市病後児保育事業)東雁来すこやかこどもデイサービスのご予約・ご利用は下記までお問い合わせを!

☎ 011-790-2030 (電話での対応は平日午前8時~17時 土曜午後12時までとなっております)

対象のお子さん 生後5か月から小学校6年生まで。 利用定員 4名

ご利用必要書類 児童登録票・利用連絡書・利用申込書(札幌市HPよりダウンロード可能) <http://www.houseikai.or.jp/sukoyaka/sukoyakakodomo.html>